

平成２７年度第５回千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会議事録要旨

- 1 日 時 平成２８年３月１６日（水）午後１時３０分～午後３時００分
- 2 場 所 千葉競輪場４階多目的室
- 3 出席者（委員）
篠崎委員長、市原委員、高岡委員、藤本委員、山本委員
（事務局）
大堀所長、池原経済企画課長補佐、鈴木主査、山本主任主事
（日本写真判定株式会社 以下ＪＰＦ）
吉川部長、小宮次長、荻原事業長、邊田事業長代理、石塚事業長代理
高橋事業長代理、青野

4 報告事項

- （１）平成２８・２９年度千葉競輪場開催業務等包括委託の契約について

5 議 題

- （１）包括業務委託の進捗状況モニタリングについて（１月～３月）

6 会議経過

（篠崎委員長）

報告事項（１）平成２８・２９年度千葉競輪場開催業務等包括委託の契約について、事務局に説明を求める。

（事務局 大堀所長）

- ・包括業務委託の変更点として、選手への給食業務を含めることとなった。後日、選手会と施行者による新たな給食の試食で問題が無ければ、給食業務を含めた包括委託の基本契約を３月３１日に締結する予定。
- ・他の業務については、昨年と同様。

（篠崎委員長）

了承。議題１の包括業務委託の進捗状況モニタリングについて、ＪＰＦに説明を求める。

(包括業務委託の進捗状況モニタリングについて)

(J P F が配布資料に沿って説明)

(イベントについて)

- ・選手と豆まきを実施した。
- ・バンク内観戦を、2月8日から開催した東出杯メモリアルカップで実施した。お客様から、寒いからもう少し暖かい時期が良いとの要望があった。
- ・千葉市健全育成課が主催の、Q V C マリンフィールドで開催する「青少年の集い大会」に参加して、千葉競輪場 P R イベントを実施した。競輪選手3名が同行して、模擬自転車レースやお子さんたちとのダンスで千葉競輪場を P R した。
- ・琴奨菊関が来場して選手トレーニングを行った。旬の力士なので、マスコミも38社集まった。本人からの要望で、テレビ取材はお断りした。地元の自治会の方々を招待した。
- ・千葉競輪場で撮影されたエステーのムシューダのCMが現在放送中。
- ・2月7日開催のシクロクロスの大会に協賛した。
- ・オリンピック、パラリンピックのサポートの一環として、タンデムの選手の鹿沼由理恵選手、田中まい選手が先日千葉競輪場で練習を行った。
- ・千葉ウォーカーに千葉競輪場のイベントなどが紹介された。(体験ツアー、千葉サイクルクラブ)

(売上・事業計画進捗報告)

- ・現在、本場の車券売上額が、正月開催、2月開催、どちらも目標に届かなかった。ただし、年間では目標に対してプラスの状況。
- ・場外収入の車券売上は、昨年度比1～2%アップの目標だったが届いていない。通年で考えると昨年度とほぼ同じ。
- ・平成26年度はF I ジャパンカップと呼ばれる全国的に発売協力がある開催が無かったため、売上自体が大きく落ち込んでいる。ただし、過去2年間において、1日あたりの車券売上額は、上昇している。
- ・ジャパンカップ開催の平成25年度と平成27年度で比較すると、平成25年度は年間開催日数は58日、車券売上額121億円に対して、平成27年度は開催日数46日、119億5,000万円。開催日数が減ったのに、ほぼ同等の車券売上額を達成した。
- ・KEIRIN. JP だけでなく、チャリロト、ケイドリームス、オッズパークのインターネット・電話投票を対象に、千葉市営競輪のキャッシュバックを行い、結果は良好だった。

(前回の提案事項の報告)

- ・ナイター開催の実施については、主に照明機器の改修が必要。地元住民の理解が必要

になる。

- ・上期に15日の非開催日があり、場外開催の収入が減少する予定。
- ・平成28年度のジャパンカップ開催については未定。松戸競輪場開催分を千葉競輪場で開催する可能性あり。
- ・車券売上の目標を達成するためには、電話投票、インターネット投票の売り上げ増加が重要。キャッシュバックキャンペーンが効果的。
- ・選手会が、千葉競輪場が存続のための署名活動を行った。イベントには延べ人数で年間114人の選手の参加があった。
- ・平成27年度の上期は、27競輪場・サテライトが千葉競輪場の車券を発売をしなかった。これは廃止報道前の数字。廃止報道後の下期は、51競輪場・サテライトが千葉競輪場の車券を発売していない。(記念開催を含めない。)
- ・現在、電話投票の売上を伸ばすように対策している。

(ネクストステップについて)

- ・4月6日に自転車運動会を開催する。千葉市、選手会、JPFがバンク内で実施予定。
- ・近隣の自治会に、今まではイベントの案内をしてきた。これからは、千葉競輪場地域見守り隊として、自治会に出向いて手伝う機会を作る。周辺地域の清掃や地域の住民の催事をお手伝いしていく。最終的には、千葉競輪場があるメリットを、地域の方々に気づいてもらいたい。
- ・平成28年度から、給食業務の補助を新規業務で開始する。主婦の力を活用して給食業務を行っていききたい。
- ・スタッフ賃金の見直しを行った。チーフ・リーダー手当の昇給と、CKBカフェ、選手管理業務、着ぐるみで頑張るスタッフの手当を設ける。
- ・正門付近の暗い場所から、LED装飾を行う。ナイターのお客様の動線を明るく照らして、ルートを光で演出する。

(篠崎委員長)

議題(1) 包括業務委託の進捗状況モニタリングについて、事務局にモニタリング結果の説明を求める。

(事務局 鈴木主査)

- ・受託者から提出のあった平成27年度開催事業実施計画にもとづき計画通り事業を実施していることを確認した。
- ・開催ごとに、1月から3月までの開催業務実施計画書及び開催業務実施報告書の提出を受けて、市営競輪の開催業務について検査を行い、実施計画通り開催業務を良好に遂行していることを評価した。

(市原委員)

他場が販売してくれるような働きかけは誰がするのか。

(J P F)

- ・ 施行者である千葉市の仕事だが、J P F も一緒に営業したい。

(市原委員)

千葉競輪場の他場の車券発売は、どのような戦略なのか。

(事務局 大堀所長)

- ・ 千葉の場外発売の日程については、千葉は南関東地区になるが、地区ごとに各競輪場の本場開催の日程を決め、全国の各競輪場の本場開催日程を決定する。決定した日程で、千葉競輪場で発売可能な競輪場を日程ごとに選択している。その中で、お互いに売り合い開催を調整している。
- ・ 千葉のお客様は、南関東地区、関東地区のレースを購入する方が多いので、南関、関東、北日本、中部、近畿、中国、四国、九州。だいたいこのような順で選んでいる。

(J P F)

- ・ 千葉競輪場の車券売上額だけで見ると少ないが、サテライト市原・成田・鴨川とサテライト場が3場あるので、そこの売り上げを合わせることを営業でPRできる。

(市原委員)

今後も千葉競輪場がメディアに使われるのか。

(J P F)

- ・ NHKのBSでチャリダーという番組を5月7日に放送予定。千葉競輪場を舞台に、自転車に乗るスピードや風の抵抗を科学する番組。

(藤本委員)

スタッフの声で、具体的な意見があったか。

(J P F)

- ・ 意見は、スタッフから14件受けている。問題点と改善策や、お客様の情報など。新しい提案として、ロイヤルルームの有効活用があった。内容は、来場者の少ないFⅠ、FⅡ開催時に「地域のイベント」や「教室」や「コミュニティ広場の場所」として使えないかという提案があった。

(藤本委員)

スタッフから意見を聞くのであれば、来場者にアンケートを実施してはどうか。

(J P F)

- ・ J K A が年に 1 回、アンケート調査を実施している。
- ・ J K A が全国の競輪場を各地区で場内アンケートを実施した。今年度は 1 4 競輪場で実施しているので、報告書を千葉競輪場の運営に役立てたい。

(篠崎委員長)

F II 開催の売り上げが増えているのをどのように分析しているのか。

(J P F)

- ・本場開催の売上は、全国的に下がっている。電話投票やミッドナイト・ナイターの車券売上は上がっている。千葉ではナイター、ミッドナイト競輪を開催していない。電話投票で車券売上額を伸ばす。本場開催でイベントを増やすことで少なくなった来場者を取り戻す。の 2 点に力を入れている。F II 開催の車券売上額が微増している考えしています。

(高岡委員)

アイデアを出してイベントを開催することはとても有効。努力が実って全体的には売上の伸びにつながった。さらに、どのイベントでどのくらい効果が出たということを分析しているか。

(J P F)

- ・平成 2 6 年度から、ファンサービスにおける人数をカウントしている。数値を出した資料もあるが、延べ人数でしか登録していない。今後は、細かく仕分けした人数を調査して、今後の企画につなげる。

(高岡委員)

売上の項目として、電話投票とか協力場外場とか細かく分けてデータ化していただいた。今後も同じような形式でデータ化していただきたい。

(J P F)

- ・了承。

(篠崎委員長)

今まで 3 年間やってきた。反省点やこれから改善したい点の説明を求める。

(J P F)

- ・最初は、競輪場運営の経験が少なく、施行者に迷惑をかけた。経験を積み、色々な数字、イベントのポイント、お客様の対応を勉強してきた。車券売上額は厳しく、全国的にも良いニュースよりも悪いニュースの方が多い状況だが、売上目標を少しでもクリアできるように頑張りたい。

- ・存廃の決定まで残り２年だが、お客様に喜ばれる施設として２年後以降も千葉競輪場を存続させていきたい。

(篠崎委員長)

議題（１）について了承。